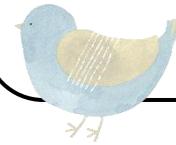


つみきのくらし

NO.4

日々の暮らしの中で、こどもも園つみきとして大切にしたいことや、こどもの素敵な姿をお伝えしていきます。

井鳥 佳織



野菜の苗を買いに行ってきました



これ、ピーマンだ
って!



大き
くな
って
ね



お部屋の中でも、野菜を育てる遊びが・・・ワクワクが継続しますね



毎年、こあら・ぱんだ組は自分達が育ててみたい野菜の苗を畑に植えて育てています。(きりん組はお米を育てます)「何を植えようか」と話し合っている時からワクワクがスタート! 今年は、いつもお世話になっている梅原商店さんに苗を買いに行き、収穫に期待しながら大切に植えました。翌日、収穫できると思って登園した子がいたそうですよ(笑)

- ①自分達で『買う』喜び
- ②自分達が『植える』喜び
- ③自分達で『育てる』『成長を見守る』喜びと期待
- ④自分たちで『収穫』する喜びと手ごたえ
- ⑤自分たちで『調理』(きゅうりは、袋に入れて塩もみする予定)『食べる』楽しさと満足感
- ⑥『おいしい』の共感

自分達で食べ物を育て、食べるという体験を通して①～⑥の過程の中で生まれる、それぞれの心の動きを大事にしたいと考えています。

また、つみきのくらしには『食べる』『眠る(休息)』という大切な生活があります。これは『健康である』ためにとっても大切なことではありますが、『～しなくてはならない』というのではなく、子ども一人ひとりに寄り添った『楽しい』『心地良い』ひとときであるよう心掛けていきたいです。

僕らから見える景色



小さな山の大きな穴に入ってひとやすみ。ちょっと上を見上げるつもりだったのに、楽しげな友達の背中に見とれてしまっていた僕。

くらしの1コマ

【うさぎ・りす組担当の保育者から聞いたお話】

保育者が子どもに「足を拭くタオルがもうなくなっちゃけど、どうしたらいいかなあ」と相談したら・・・

「(子ども自身の服)これで拭いていいよ」「パパにタオルちょうだいて聞いてみる」といった返答が返ってきました。それを聞いた保育者は「無いから出来ないではなくって、どうやったら出来るかって考えるんですね」と子どもの前向きな心持ちに感動したことを教えてくれました。